

2025年度

## 授業概要

科目名	高次脳機能障害学Ⅲ			授業の種類	演習	講師名					
授業回数	15	回	時間数	30	時間	1 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	ST2年	前期

### 【授業の目的・ねらい】

高次脳機能障害について総合的に理解し、臨床に関連づけた知識をえる。

【実務者経験】

言語聴覚士として病院に勤務し、成人分野の急性期から慢性期までのリハビリに従事する。

## 【授業全体の内容の概要】

言語聴覚士が高次脳機能障害に行なう、評価からリハビリまでの知識を関連付けて考え、技術を修得する

## 【授業終了時の達成課題（到達目標）】

高次脳機能障害について理解し、臨床でよく使用される検査の評価が行えるようになる。

回数	講義内容	準備物(教材)
1	STADについて理解できる(演習含む)	STAD
2	STADについて理解できる・トークンテストについて理解できる(演習含む)	STAD トークンテスト
3	WAB失語症検査について理解できる(演習含む)	WAB失語症検査
4	重度失語症検査について理解できる(演習含む)	重度失語症検査
5	重度失語症検査・CADLについて理解できる(演習含む)	重度失語症検査 CADL
6	CADLについて理解できる(演習含む)	CADL
7	失語症語彙検査(TLPA)について理解できる	TLPA
8	失語症語彙検査(TLPA)について理解できる	TLPA
9	STA新版失語症構文検査について理解できる	STA
10	STA新版失語症構文検査・SALAについて理解できる	STA
11	SALA・SCTAWについて理解できる	SALA SCTAW
12	グループワークにて事例検討を行い、情報収集をする	
13	グループワークにて事例検討を行い、検査結果や訓練内容を考える	
14	各班での事例検討まとめの発表	
15	総復習	
	定期筆記試験	

【使用教科書・教材・参考書】

【使用教科書・教材・参考書】  
『言語障害スクリーニングテスト(STAD)』 インテルナ出版

### 【準備學習・時間外學習】

【準備学習・時間外学習】  
授業で行う内容の予習・復習を行ってください。

【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】

試験の結果を100点満点にして成績を評価する

試験の結果を100点満点として成績を評価する。  
試験は定期試験のみ実施し、60点以上の場合は科目を認定する